

社会福祉法人大東福祉会 平成23年度 事業報告

決算報告

★ 貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金・預金	392,686,673	短期運営資金借入金	
未収金	192,099,738	その他の流動負債	49,389,856
その他の流動資産	3,457,292	固定負債	
固定資産		設備資金借入金	742,826,307
基本財産 建物	2,186,598,859	退職給与引当金	20,605,803
土地	225,762,104	その他の固定負債	
その他の固定資産	744,187,646	負債の部合計	812,821,966
		純資産の部	
		純資産	
		基本金	36,770,181
		国庫補助金等特別積立金	1,332,861,591
		その他の積立金	618,000,000
		次期繰越活動収支差額	944,338,574
		(うち当期活動収支差額)	86,261,591
		純資産の部合計	2,931,970,346
資産の部合計	3,744,792,312	負債及び純資産の部合計	3,744,792,312

★ 事業活動収支計算書

事業活動収支の部		事業活動外収支の部	
介護保険収入	1,081,752,826	事業活動外収入計④	34,767,883
自立支援費等収入	8,365,438	借入金利息支払	15,038,262
措置費・運営費・補助金収入	313,384,833	その他の事業活動外支出	19,184,024
国庫補助金等特別積立金取崩額	68,589,380	事業活動外支出計⑤	34,222,286
その他の事業活動収入	83,871,909	事業活動外収支差額⑥(④-⑤)	545,597
事業活動収入計①	1,555,964,386	経常収支差額⑦(③+⑥)	86,304,317
人件費支出	1,011,456,309	特別収支の部	
事務費及び事業費	331,726,172	特別収入計⑧	1,680,000
利用者負担軽減額	5,493,926	特別支出計⑨	1,722,726
減価償却費	118,396,659	特別収支差額⑩(⑧-⑨)	-42,726
その他の事業活動支出	3,132,600	当期活動収支差額⑪(⑦+⑩)	86,261,591
事業活動支出計②	1,470,205,666	繰越活動収支差額の部	
事業活動収支差額③(①-②)	85,758,720	前期繰越活動収支差額⑫	869,476,983
		当期末繰越活動収支差額⑬	955,738,574
		次期繰越活動収支差額⑭	944,338,574

事業毎の総括

保育園事業において、少子化社会への対応が課題とされる中、「子ども・子育て新システム」が検討され、保育制度の方向性が示されてきた。その中で、保育士は子どもの健やかな成長と発達を願うと共に配慮を必要とする子の支援や多様なニーズに対応し、子育て不安や孤立感をいなく保護者に対して、支援や専門職としての責務を果たしてきた。更に地域を取り込んだ交流として、未就園児家庭への園庭開放、近隣の幼稚園、小学校、お年寄りとの交流会等を行い様々な人とのふれあいを通し、豊かな心や思いやりの気持ちを育ててきた。地域の子育て支援として、子育て支援センター事業、一時預かり事業も実施した。

老人福祉事業では、意識改革による活性化として部署間交流を行い他部署の事業への理解を深め、職員が自分の仕事について見つめ直す機会となった。同時に他部署をみることで自分達の業務見直しを図る機会ともなり、少しずつではあるが業務手法に変化が見られてくると思われる。また、入所系サービスにおいては95%以上、在宅系サービスについては80%以上の利用率となり、安定した利用率が確保できた年度といえる。

苦情解決結果について

城東保育園

なし

大坂保育園

■受付日 平成23年6月23日

申出人 一般の市民

内 容 3歳児と5歳児が近隣の公園に園外保育に出掛けた。その件で市民の方から、「遊具に保育士がついていない。一般の子どもが遊具で遊びづらかった。」という苦情の電話があった。

結 果 教えていただいたご意見に感謝し、指導の行き届かなかったことをお詫びした。

引率した職員に確認するが、各遊具には職員がついて安全に使用してきたこと、未就園の子どもが来たら譲るよう対応したとのことだった。しかし、公共の場所なので市民の視線もあることや、安全に遊具を使用するなど公共の場所でのマナーを守ることを再度、職員に伝えた。

今後、園外保育にはなるべく小集団で出掛けるようにし、周囲に配慮していきたい。

## 千浜保育園

■受付日 平成23年7月13日

申出人 1歳児の保護者

内 容 給食後、保育室において、同じクラスの男児に右腕を噛まれてしまった。降園時、母親にその時の状況と経過を話して謝罪すると理解を示してくれたようだった。しかし、翌朝、本児を送ってきた父親から、「噛まれたのは2度目である。何とかならないか!」と言われた。これからも、十分注意して保育していくことを伝え、再度謝罪する。

結 果 噛みつきはお互い様だが、傷ついてきたわが子を見て、苦情を言う保護者の気持ちもよく理解し、職員一同、保育園において大事な子どもたちを預かっているという意識を改めて持ち、職員間で連携して防ぐことのできるものは防いでいく体制を工夫していく。

## 大東苑

■受付日 平成23年5月7日

申出人 デイサービス利用者ご家族

内 容 デイサービスに行ってから体調が優れなかった時の対応について、納得できない。入浴や食事のこと、また、受診が必要であることなど家族にわかりやすく説明してほしい。

結 果 デイサービスにおける緊急時の対応について職員は承知していても、利用者家族はわかっていないことがある。話の行き違いについて謝罪し、デイサービス利用時の体調、受診のお願いなどわかりやすく説明する。家族に対して親切かつ丁寧な対応が必要である。

■受付日 平成24年3月7日

申出人 デイサービス利用者の隣家

内 容 デイサービスの送迎車が家の前の道路を通り利用者宅に行っている。雨の日や雨上がりの日にタイヤに泥を付けたまま通り過ぎていく。雨が回復した後、泥ぼこりが家に舞い込んでくる。送迎方法等について何か対応してほしい。

結 果 利用者の庭にぬかるみが出ることを確認する。利用者宅での方向転換を行わないこととし、前進又は後退の送迎を行うとともに、安全運転についても徹底を図る。

■受付日 平成24年3月12日

申出人 ショートステイ利用者ご家族

内 容 ショートステイ利用時に確認した内容と大東苑での対応内容が違うので、その経過や理由等について説明してほしい。

結 果 サービス内容等が確認した内容と違っていたことを謝罪する。変更等ある場合、事前に家族に連絡し了解を得ることとする。また、家族から連絡を受けていたことが職員間で徹底されていなかったため、職員間の連携を密にするとともに、家族に対しても事前の確認など慎重な対応が必要である。

## くにやす苑

なし